

文献 12

Karagounis P, Tsironi M, Prionas G, Tsiganos G, Baltopoulos P. Treatment of plantar fasciitis in recreational athletes: two different therapeutic protocols. Foot & ankle specialist. 2011; 4(4): 226-34. MEDLINE®; 1946 to date (1946 - current) Web ID: 2003221388

1. 目的

従来の足底筋膜炎治療とさらに鍼治療を加えた治療の効果を Pain and Disability Scale (PEPS) で明らかにすること。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

University of Athens

4. 参加者

運動習慣があり足底筋膜炎を有する 38 名

5. 介入

グループ 1 と 2 に分け、グループ 1 にはアイシングと NSAIDs、ストレッチ、筋トレを行わせた。グループ 2 には上記の治療プログラムに鍼治療をプラスした。鍼治療は週 2 回で 8 週間、約 20 ヶ所のトリガーポイントの中からその被験者の痛みのある点を確認して選び、20～30 分間置鍼した。

6. 主なアウトカム評価項目

治療前、治療 4 週間後、8 週間後における Pain and Disability Scale (PEPS)

7. 主な結果

鍼治療を施したグループ 2 の 8 週間後における平均値は初回の平均値と比較し有意に低値であった。

8. 結論

鍼治療は従来の医療技術にプラスすることで踵の痛みを早くに改善する有効な手段になりうるといえる。

鍼を打つことにより鍼周辺の異なる細胞に様々な変化が起こる。これらの反応は皮膚の軸索反射による血管拡張を通して組織の機能を改善させる。この血管拡張の効果は Aδ または C 線維を刺激しカルシトニン遺伝子関連ペプチドが放出されたことより生み出される。

9. 論文中的安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

プラセボ効果の影響を排除するうえでも、対照群の設定を行う必要があると考えられるものの、患者に対して何の処置も行わず、フォローアップを継続することはとても困難であると思われる。PEPS や VAS といった主観的な評価以外の評価も併せてあるとより良いと考える。

11. Abstractor and date

吉田成仁 2016. 3. 26